

# 天王通り周辺 まちづくり

## タウンミーティング

### 第2号 ニュース

参加者  
36名

#### 第1回

日時：1月13日（土）  
9:30~11:45  
会場：津島市文化会館視聴覚室  
テーマ：  
「天王通り再生プランの作品を通して」

3つの受賞作品の提案者をお招きし、プランの説明を聞き市民と意見交換しました。

今回は  
ココ!

#### 第2回

日時：2月17日（土）  
9:30~11:45  
会場：観光交流センター  
テーマ：  
「道(天王通り)の可能性について」

通りの歴史を振り返り、交通や福祉など様々な観点からみた「道」の可能性もついて意見交換をしました。

#### 第3回

日時：3月17日（土）  
9:30~11:45  
会場：観光交流センター  
テーマ：  
「天王通りの将来像について」

第1回・2回を踏まえ、天王通りの将来像について方向性を探ります。

#### ■タウンミーティングの概要

天王通り周辺まちづくりを考えるタウンミーティングの第2回目は、天王通りの歴史や位置づけをふりかえり、他都市の事例を学びながら道路の機能（役割）について参加者で話し合いました。将来の天王通りにはどんな道路機能が重要なのか、「レーダーチャート」を使いながら、3つのテーブルに分かれて将来の方向性を話し合って発表しました。



#### 名古屋大学名誉教授 清水裕之先生

天王通りは昭和に入って計画され、戦前に概ねできました。昭和50年代くらいまでは、街なかに商店や工場も多く、住む人や働く人で日頃から賑わっていました。

現在の天王通りは寂しい状況ですが、他都市では道路空間を様々な活用して街に賑わいや個性をつくっています。



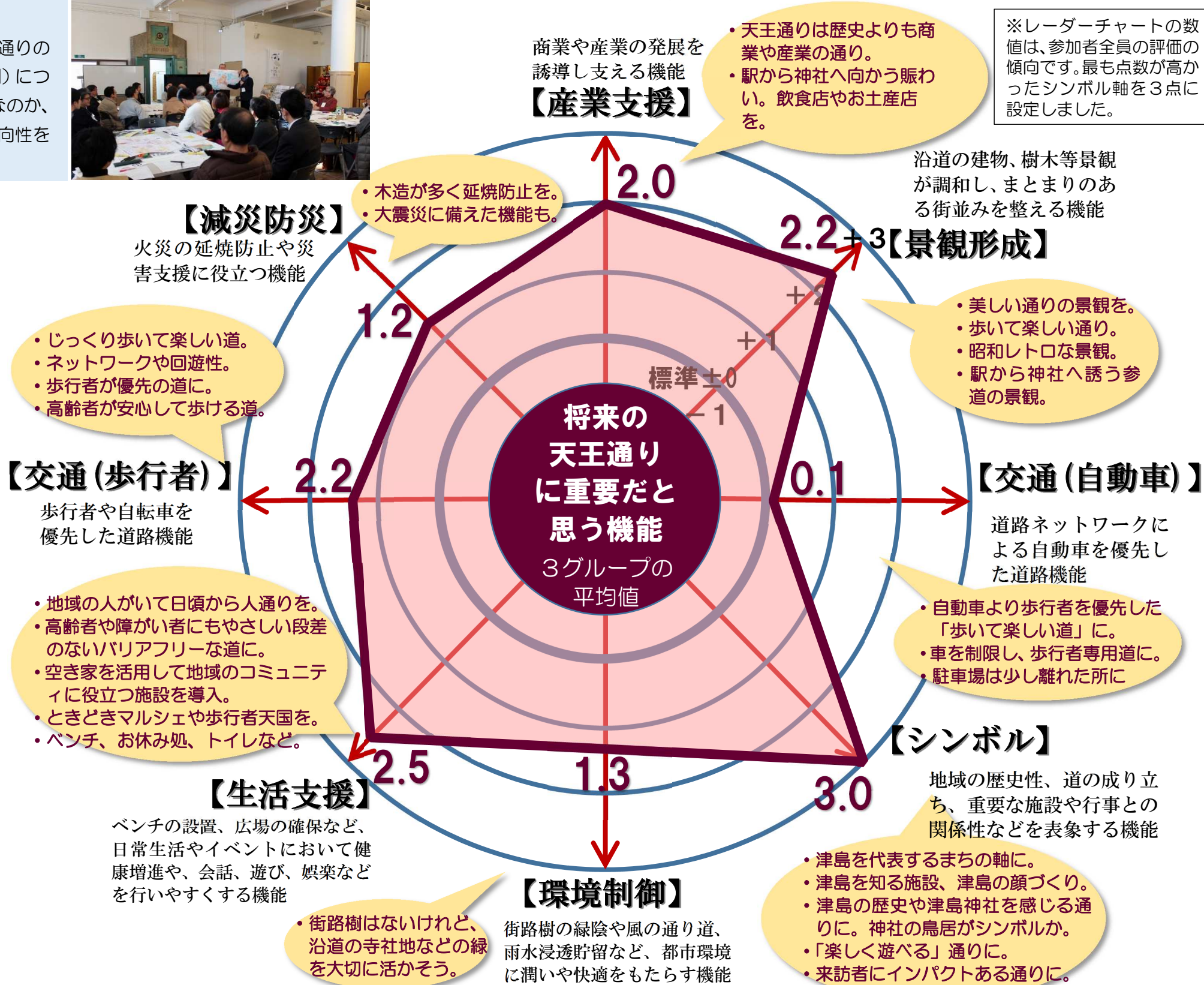
▲以前の天王通り（戦後～昭和50年頃）、▼他都市の通り事例



■路上のカフェ



■歴史的町並みの通り



## Aグループのまとめ

●駅から津島神社への「詣でる道」をシンボリックに、津島の顔となる美しい道にしよう。

津島の歴史を感じるシンボリックな道であると同時に、飲食店や土産物店など日常的な賑わいをもたらす産業支援機能や、誰もが歩きやすく休める処がある生活支援機能も、共に重要であり両方を実現する方向をめざしたい。

そのためには、自動車よりも歩行者が優先の「歩いて楽しめる道」が必要になる。



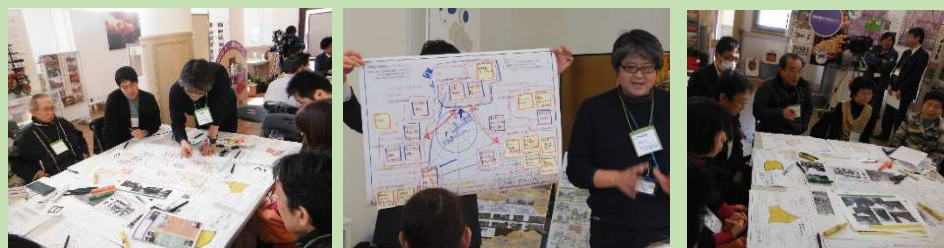
★は各グループで参加者が最も重要と発表した人数

機能	★	大事にしたい機能
産業支援機能(商業業務)	★ ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>津島の中心地として産業や働く場が必要。</li> <li>歴史を活かした観光産業を育てて賑わいを。</li> <li>駅から津島神社へ向かう参道の賑わいを。</li> <li>外から飲食店や土産物がない</li> </ul>
景観形成機能	★	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しい景観の道にしたい。</li> <li>参道の雰囲気づくりに、灯籠とベンチがセットになったストリートファニチャーを。</li> </ul>
交通機能(車)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者優先で自動車が通らない道にしたい。</li> <li>歩行者専用道路などインパクトがある施策を。</li> <li>自動車がゆっくり通るよう、一方通行でクネクネした道に。</li> </ul>
シンボル機能	★ ★ ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>津島神社を中心とした街のイメージづくり。</li> <li>駅から神社への参道として歩いて楽しい景観づくり。</li> <li>地元人間が自慢できる街にしたい。</li> <li>街が変わる予感がするようなインパクトのある道づくりを期待する。</li> <li>津島の中心地には、博物館など地域の歴史を学べる場所が必要。</li> <li>津島神社をパワースポットとしてアピールしたい。</li> </ul>
生活支援機能	★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>「楽しく遊べる道」</li> <li>高齢者や障がい者にもやさしく、段差のないバリアフリーな道。</li> <li>休み処がない。ベンチ、休憩所、トイレ、喫茶店等。</li> <li>アーケードや屋根付きの歩道など雨の日も歩きやすければ、歩く人も増える。</li> </ul>
交通機能(人・自転車)	★	<ul style="list-style-type: none"> <li>じっくり歩いて観光してもらう道に。</li> <li>天王通りだけでなく周辺への回遊性がある街づくりを。</li> <li>高齢化社会に対応した、歩いて暮らせる街。</li> </ul>
減災防災機能	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造が多い地域なので火災延焼を防ぐ機能。</li> <li>近く予測される大震災に備えた道路機能。</li> </ul>

## Bグループのまとめ

●天王通りは必ずしも歴史の重みのある通りではない。どちらかというと生活に密着した通りであり、そのあたりをふまえると「産業支援機能」としての役割を持たせることが最も重要ではないか？

⇒ その為に天王通りの生活支援機能や地域のシンボル性を高めていくことで歩行者、自転車を優先した道路機能としての整備を図っていくことが重要。



機能	★	大事にしたい機能
産業支援機能(商業業務)	★	<ul style="list-style-type: none"> <li>お店でお金を落とすことで活気が出る。</li> <li>天王通りは歴史性を出すのではなく、商業や産業を中心とした通り。</li> <li>食べる、見る、買う、作るといった機能が必要。</li> <li>⇒土産物屋さん、食べ物屋さんがあるとよい。</li> <li>⇒着物で街歩きとか</li> </ul>
景観形成機能	★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちの美観、くつろぎ、歩く楽しさ</li> <li>天王通の昭和のレトロ感が残る景観(商店街)を残したい。</li> <li>水に関する景観を。⇒せせらぎなど</li> </ul>
交通機能(車)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>車は天王通りから外して、渋滞をなくす</li> <li>⇒離れた所にパーキング整備</li> </ul>
シンボル機能	★ ★ ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史と伝統の重みがある場所であり、戦災を免れた古い街並みも残っている。津島の歴史性を大事にしたい。</li> <li>全国的に売り込むことが必要</li> <li>まちを案内する際、まちの軸がないので天王通りを軸にして機能を付加していくことが必要。</li> <li>津島が景気の良い時にまちのビジョンを作らなかった。</li> <li>市内にたくさんあるお寺を有効に活用する。(文化財としての価値のある寺も多い)</li> <li>気楽に入れる寺が少ない。</li> <li>観光客向けにご朱印帳を目玉アイテムにする。</li> <li>天王通りは歴史の重みのある通りではない。</li> </ul>
生活支援機能	★ ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>通りに人がいる雰囲気がなく日常的な賑わいを創りたい。</li> <li>天王通りは将来的にワクワクするような位置づけだと思う。そのためにいろいろな機能とネットワークしてつながるような整備が必要。</li> <li>くつろげる空間づくり。</li> <li>高齢者の利用もふまえて、通り沿いにトイレを整備。</li> <li>空き店舗を整備して休憩スポットとして活用する。</li> </ul>
交通機能(人・自転車)	★	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩く楽しみ(ウォーキング)</li> <li>現状で歩道はガタガタであり、歩きやすさが必要</li> <li>⇒バリアフリー整備を充実</li> <li>自転車の利用を促進させるため、レンタサイクルを整備してはどうか。</li> </ul>
減災防災機能	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺には狭い通りも多い。火災が起きた時に対応できる(延焼防止、消火活動)ような防災機能としての通り。</li> </ul>

## Cグループのまとめ

●誰のための整備かを考えることが必要。それは観光客のためなの、それとも生活する市民のためなの？

→「産業支援機能」を充実させることで、景観形成機能もシンボル機能も生活支援機能も引き上げられる。

●津島には市民の活動がある。(ガイドボランティア・おもてなしコンシェルジュなど)活動をシンボルととらえるべき。

→ハードの整備だけでなく、ソフトの整備を特色とすべき。



機能	★	大事にしたい機能
産業支援機能(商業業務)	★ ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆空き家対策をしっかりと。</li> <li>☆空き家など、活用できる家や店舗の調査が必要。規模や持ち主の意識など。</li> <li>自治体の支援が必要。</li> <li>地権者の理解が必要。</li> <li>駅名の変更。「津島駅」→「神の駅」に。</li> <li>インキュベーション機能を持った施設の設置と支援が必要。</li> </ul>
景観形成機能	★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>統一のデザインコード。・緑化など。</li> <li>電柱にハンギングバスケットを。</li> <li>津島神社へ誘導する緑の道。</li> <li>歩道の拡張と緑化。</li> <li>津島神社を強調できる街並みづくり。</li> </ul>
交通機能(車)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいバスを活かす。</li> <li>現状程度の機能で良い。</li> </ul>
シンボル機能	★ ★ ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆シンボルは必要。</li> <li>☆祭り、イベントの周知が大切。</li> <li>☆和の景観誘導。調和する街並みがシンボルとなる。</li> <li>☆津島神社のお参りに出かけることがシンボル。</li> <li>☆シンボルは津島神社の鳥居がよい。新しく要らない。</li> <li>津島にゆかりのある武将隊をつくり、津島の逸話を広めよう。</li> <li>津島にはガイドボランティアとおもてなしコンシェルジュが古い街並みを紹介する取り組みこそがシンボル。</li> </ul>
環境制御機能	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆お寺の緑を活かそう。</li> </ul>
生活支援機能	★ ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆シャッター通りを工夫しよう。</li> <li>☆古い空き家の跡地利用。</li> <li>☆コミュニティ機能をもつ公共施設を通りに設置。</li> <li>それに加えて、バスネットワークを充実させる。</li> </ul>
交通機能(人・自転車)	★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>マルシェや歩行者天国、文化祭のようなイベントをしよう。</li> <li>集る場所と空間を大切に。市民がふれあう広場を。</li> <li>歩行者、特に高齢者が安心して歩ける道路づくり。</li> <li>歩道を美しく整備。</li> <li>休日は歩行者専用道路に。</li> <li>公共交通をもっと利用し、散歩ついでちょうど良い。</li> <li>歩車道のフラット化、歩車道間に樹木を植える。</li> </ul>
減災防災機能	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状程度の整備方針でよい。</li> <li>お寺にはオープンスペースや緑があり、防災にも役立つ。</li> </ul>

